

## 採択拠点の拠点形成概要・採択理由

【分野名：革新的な学術分野】

機 関 名	静岡大学
拠点のプログラム名称	ナノビジョンサイエンスの拠点創成
中核となる専攻等名	電子科学研究科電子応用工学専攻
事業推進担当者	(リーダー) 三村秀典 教授 外13名
<p>(拠点形成概要)</p> <p>本研究教育拠点は、テレビジョン技術発祥の地、本学浜松キャンパスにおいて、従来の画像工学を「光子・電子のナノ領域制御」を用いて革新し、新学術分野「ナノビジョンサイエンス」の拠点創成を目指すものであり、これにより「感性豊かな画像コミュニケーション」時代を牽引する。文部科学省知的クラスター創成事業など画像工学に係る産学連携の実績を基に、光子・電子のナノテクノロジーに係る国際的研究者を融合させることにより拠点創成を目指す。このため、全学的な支援体制をとってリソースの重点配分を図るとともに、ナノビジョン専攻を有する新大学院の設置（平成18年度）、ナノビジョン研究推進センターの設置（電子工学研究所に設置済み）など体制を整備する。教育面では、ナノビジョンに精通した技術者・研究者を輩出するため、COE特別コースを設置し、博士課程の早期修了とポスドク制度を一体的に活用・推進するとともに、実績のあるEUおよびアジア圏の協定校との定期的国際会議などを利用して国際性豊かな人材の育成を目指す。</p>	
<p>(採択理由)</p> <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ナノエレクトロニクスとビジョン（画像工学）の融合領域を開拓するという野心的な拠点形成計画であり、その革新性は高く評価される。1光子・1電子の制御はナノテクの究極の目標の一つであり、これを画像工学へ展開することは、大きな価値を生むと期待される。教育面でもしっかりした計画がなされており、学長の強いコミットメントに裏打ちされた大学側からの支援も拠点形成に十分である。</p>	
<p>&lt;革新的な学術分野であるポイント&gt;</p> <p>光子・電子の集団・統計的利用という旧来の画像工学とは異なり、個々の光子・電子のナノ領域制御による新しい画像工学へ発展させようとするもので、デバイス製作からビジョンシステムまでをカバーする革新的な学術分野の開拓を目指す拠点形成計画である。</p>	